

プロヴティフ 10 日目。本日も快晴。日中の気温はここ 2、3 日同じように上昇します。日差しは強かったのですが、風はほとんどありませんでした。

今日のレースについて確認事項は以下の通りです。

- ・JM4x ~ 昨日と同じポイント。キャッチをクイックに。「ため」を作らず素早く水をつかもう。

昨日のレースは前半出られて焦った場面もあったが、今日は冷静に行こう。

- ・JW4x ~ 今大会、最後のレース。スタートからゴールまでノーミスで行こう。今出せる力を全てぶつけよう。

以上のポイントを全クルーで確認してレースに臨みました。

JW4x、JM4x とも内容のあるレースをしました。レース結果は以下の通りです。

11:20 JW4x Final C (13 位~16 位決定戦)

1 位 DEN 6:55.53

2 位 FRA 6:58.50

3 位 UKR 7:05.39

4 位 JPN 7:08.51

JW4x にとっては今大会最終レースとなりました。予選、敗者復活戦と自分たちのイメージ通りのレースがなかなか出来ずに苦しんでいる場面もありました。

大林コーチ、村田コーチから「このレース、気持ちよく漕ごう。全力で行こう。」とアドバイスを受けて岸を蹴り出しました。

スタートから前半は少し出遅れたものの、第 3 クォーター1500m 付近、UKR(ウクライナ)との先行争いは感動的でした。最後の力を振り絞り、今出せる力の全てをぶつけ、艇を滑らせました。自転車で伴走するコーチ陣も選手と一体となり駆け抜けました。一端は並んだかに見えましたが、残念ながらゴールでは 3 秒の差がありました。

全力を出し尽くしたクルー、彼女たちを支えてきたコーチ・スタッフ陣にも涙があふれました。

結果は 16 か国参加中 16 位というものでした。6 月の選考レースから 3 回の強化合宿を経て臨んだ今大会でしたが、世界の壁は厚く高いものでした。果敢に挑んだレースで、ことごとく跳ね返される現実を、彼女たちはどう受け止めたのでしょうか。

この世界戦で経験した全てを、一人ひとりが今後活かしてくれることを期待します。

16:07 JM4x Semi Final C/D 2

1位 AUS 6:07.56

2位 POL 6:09.06

3位 BEL 6:12.43

4位 JPN 6:16.53

5位 BLR 6:18.97

6位 GRE 艇計量不足

Cファイナル（13位～18位決定戦）進出かDファイナル（19位～24位決定戦）進出かを賭けたレースでした。結果は上位3位以内に残れず第4位。明日のDファイナル（19位～24位決定戦）に挑むことになりました。

昨日のレースの反省に基づき、キャッチを遅らせない事を意識して漕ぎました。それと他のクルーに先行され焦ったという反省もありました。このレースは他のクルーを意識せず自分たちの漕ぎに集中する事を最優先に漕ぎました。

レース後半、上位3艇とそれに続く3艇の間にはっきりと水が空き始めました。1本1本を丁寧に押し続け加速の意識で追いかけてますが、上位との間はなかなかつまらないままのゴールでした。GRE（ギリシャ）は日本よりも速くゴールしましたが、レース後の艇計量で艇重量不足と判定され、結果日本が第4位、BLR（ベラルーシ）が第5位、GRE（ギリシャ）が第6位という結果でした。このBLRとの4秒差は大きいです。

明日のDファイナルは是非ともトップゴールをして20位以内の19位を目指します。

明日のスタートリストです。

11:06 JW1x（榊原） Semi Final A/B 1

1 FRA

2 BLR

3 NED

4 ROU

5 DEN

6 JPN（榊原）

16:21 JM1x（福井） Final E（22位～27位決定戦）

1 CHI

2 UKR

3 IRQ

4 JPN（福井）

5 GEO

6 PAR

16:42 JM4x Final D (19位~24位決定戦)

1 GRE

2 TUR

3 JPN (竹内・嶋田・山口・大竹)

4 SLO

5 BLR

6 DEN

大会も後半に入って来ました。残すところあと二日です。明日も頑張ります。応援を宜しくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。